



自分でメディアをコントロールする力を育てましょう

ダイジェスト

平成 25 年度「中学生の意識・行動と保護者の養育態度・意識の実態調査」のまとめ

32年の推移をふまえて ヒントはここに！ 中学生の子育て、家庭教育

福岡県教育委員会では、平成 25 年度に中学生とその保護者を対象に「中学生の意識・行動と保護者の養育態度・意識の実態調査」を行いました。昭和 57、平成 5、10、14、19 年度に続き、6 回目の調査となります。今回この調査結果のダイジェスト版を作成しました。32 年の推移をふまえ、これからの子育てや家庭教育の在り方を探るヒントとして活用していただければ幸いです。

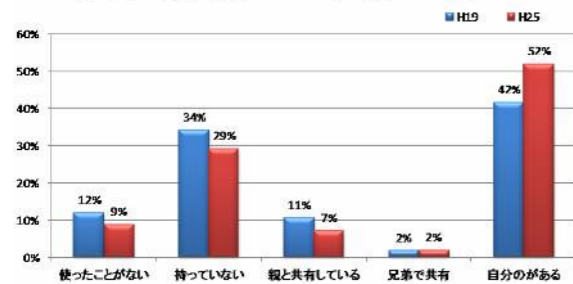


対象者：県下 6 中学校の生徒とその保護者
有効回答数：生徒 2064 名
女性保護者 1782 名 男性保護者 1385 名
※グラフについては無回答の度数を省略しています。

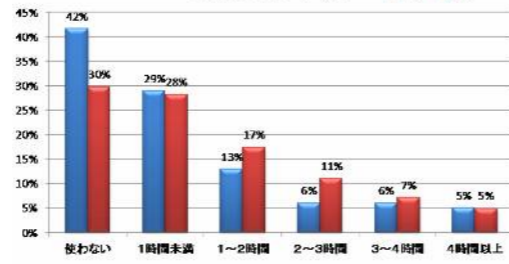


家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう

〈生徒〉あなたは、携帯電話、スマートフォンを持っていますか？

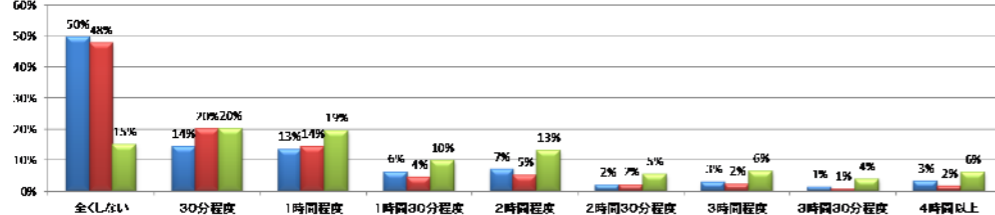


あなたは、平日に1日平均どのくらい携帯電話、スマートフォンを使いますか？



〈生徒〉

あなたは、ゲーム(テレビ、パソコン、ネット、携帯型、携帯やスマートフォン全て含む)を平日に1日平均どのくらいしていますか？



今回の調査で、中学生が自分の携帯電話・スマートフォンを所持している割合が、6年前より10%増加し、初めて50%をこえました。携帯電話・スマートフォンの使用時間も1日1時間以上使用する割合が増加しています。また、1日1時間以上ゲームをしている割合も増加しています。手軽に携帯できてネットにもつながる携帯電話・スマートフォンは大変便利なものですが、保護者が使用実態を把握しにくい面があります。使い方等についてきちんと話し合い、ルールを決めて、子どもが自分でコントロールできる力を育てましょう。



一人で悩まず 気軽にアクセス

① HP「ふくおか子育てパーク」
～子育てに役立つ情報がいっぱい～

ふくおか子育てパーク

検索

<http://www.kosodate.pref.fukuoka.jp/>

③ 家庭教育相談電話「親・おや電話」
～専門の相談員がお受けします～

電話 092-947-3515

月曜～土曜 (9:00～17:00)

※センターの休所日、第2月曜、第4土曜、国民の祝日は除く

② 子育ての悩みは「メール相談」
～先輩ママがお受けします～

soudan@kosodate.pref.fukuoka.jp

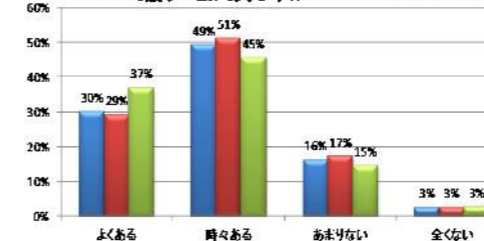
編集／発行

福岡県立社会教育総合センター

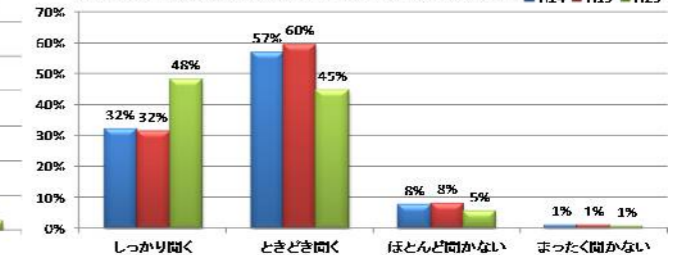
糟屋郡篠栗町大字金出3350-2

電話 092-947-3512

〈保護者〉あなたは、お子さんとお子さんの学校での生活について話すことがありますか？

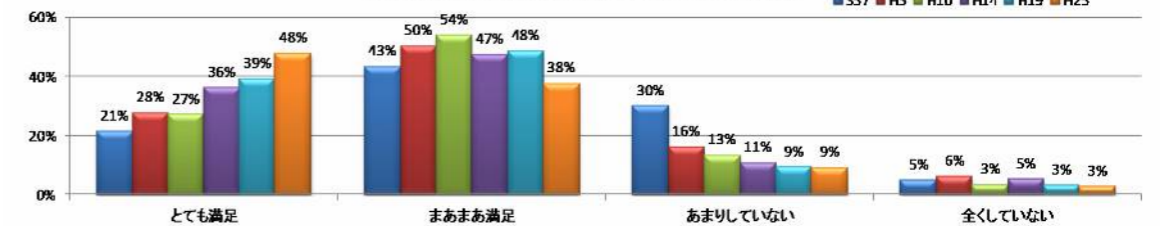


お子さんがあなたの価値観と異なる考えや行動を示す場合、どの程度お子さんの考えや言い分を聞きますか？



〈生徒〉

あなたは、家庭での生活に満足していますか？

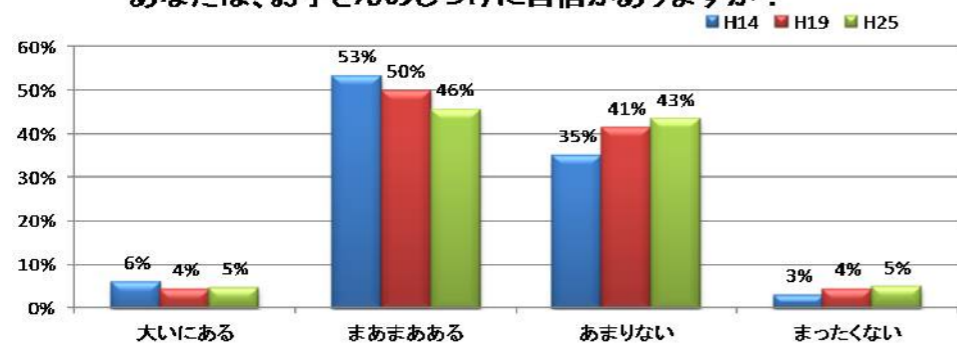


保護者に対するアンケートでは、「子どもと学校生活について話すことがよくある」割合、「子どもの考えや言い分をしっかりと聞く」割合ともに過去の調査よりも高くなっています。保護者が、子どもとのコミュニケーションに気を配るようになってきています。また、生徒に対するアンケートでは「家庭生活にとっても満足」が年々増加し、今回の調査では48%と過去最高の満足度となりました。これは家庭でのコミュニケーションの充実も影響していると考えられます。

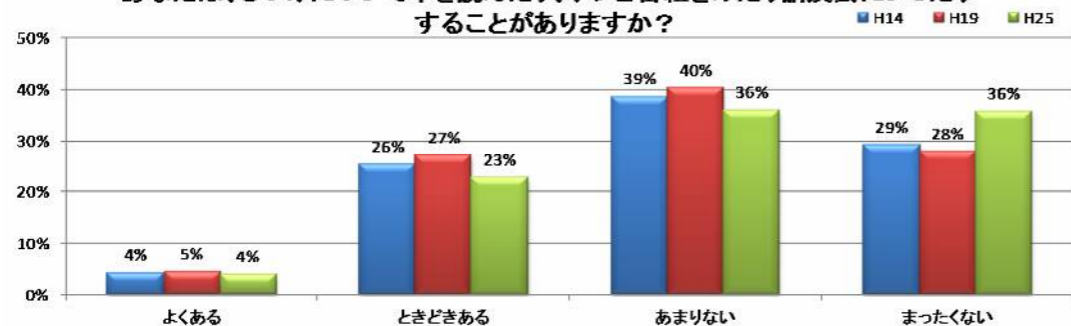


家庭教育やしつけについて学び合う機会を持ちましょう

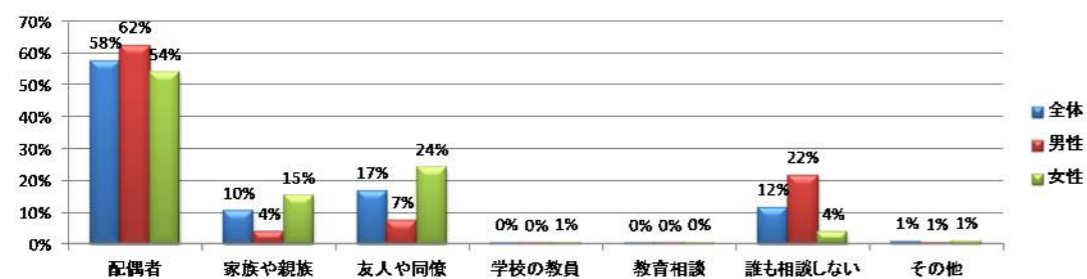
〈保護者〉 あなたは、お子さんのしつけに自信がありますか？



〈保護者〉 あなたは、しつけについて本を読んだり、テレビ番組をみたり講演会にいったりすることがありますか？



〈保護者〉 あなたは子育てについての悩みを誰に相談することが一番多いですか？



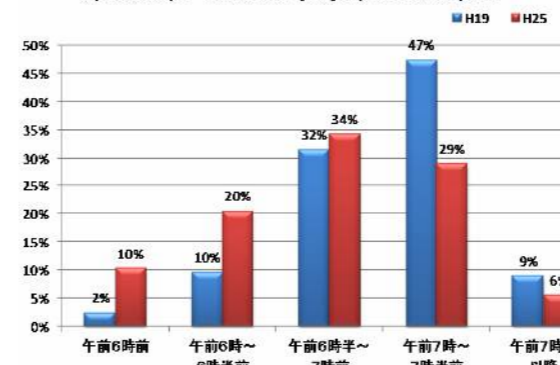
保護者に対するアンケートでは「しつけに自信がありますか」という問いに対して、「大いにある」「まあまあある」を合わせた割合が、H14年度調査から回を重ねるごとに減少しています。また、しつけについて学習することも「よくある」「ときどきある」を合わせた割合がH19年度調査よりも5ポイント減少しています。子育てについての悩みの一番の相談相手は1位が配偶者、2位が友人や同僚で、誰にも相談しないと答えた保護者も12%います。

家庭教育やしつけについて、一人で悩まず相談したり、PTAや地域の研修会など様々な学習機会を活用して保護者どうして学び合ったり、支え合ったりすることが大切です。

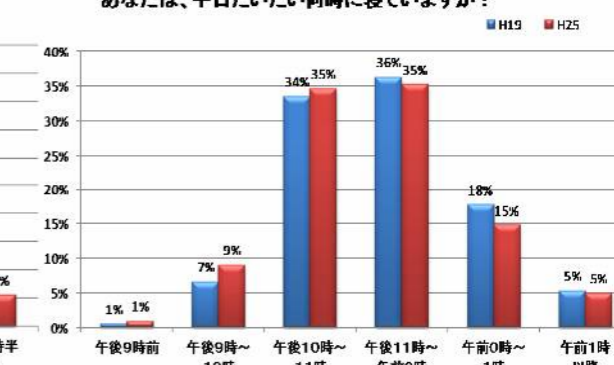


生活習慣、学習習慣のリズムをつくりましょう

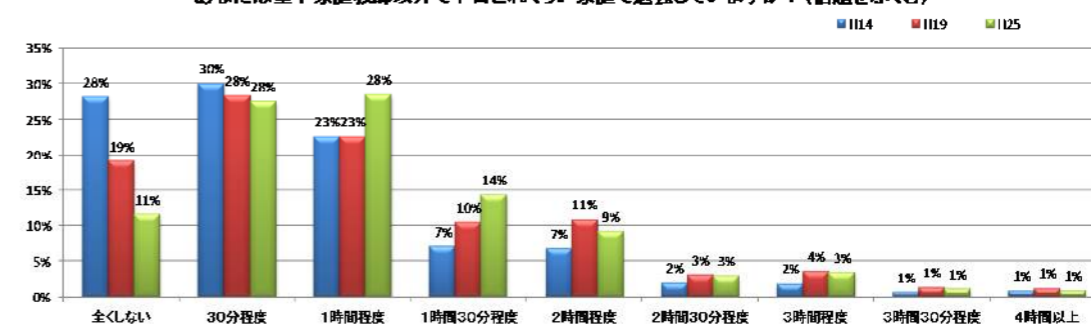
〈生徒〉 あなたは、平日だいたい何時に起きていますか？



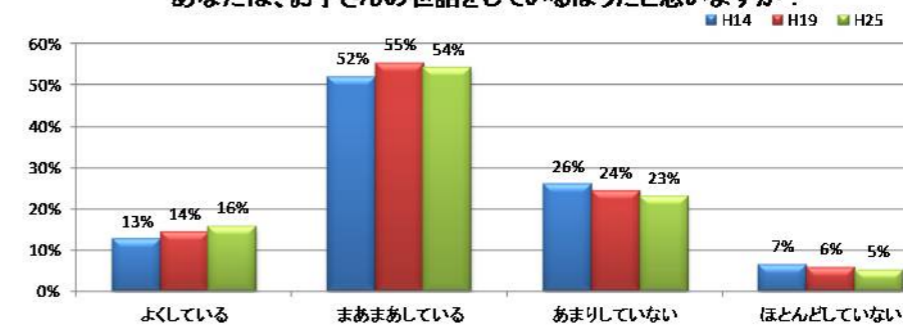
あなたは、平日だいたい何時に寝ていますか？



〈生徒〉 あなたは塾や家庭教師以外で平日どれくらい家で勉強していますか？(宿題をふくむ)



〈保護者〉 あなたは、お子さんの世話をしているほうだと思いますか？



生徒に対するアンケートでは、「午前7時前に起きる」と答えた割合がH19年度の調査と比べて20%増えています。また「午後11時までに寝る」と答えた割合は3%増えています。家庭学習についてのアンケートでは、「まったくしない」と答えた生徒がH19年度よりも8%減っています。これらの結果から、「早寝、早起き、家庭学習」の習慣が身に付きつつあるといえます。

保護者に対するアンケートでは、子どもの世話を「よくしている」「まあまあしている」と答えた割合が、H14年度から少しずつですが増えています。生活習慣、学習習慣は決まった時刻、決まった場所でのリズムある繰り返しにより定着していきます。子どもの自主性も尊重しながら、より良い生活習慣、学習習慣づくりのサポートを心がけましょう。